

## プログラム

令和5年8月7日(月) 会場:国分シビックホール

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目 45-1

- 1200-1300 理事会・総会
- 1300-1320 開会行事(会長挨拶, 実行委員長挨拶、表彰式)
- 1330-1430 特別講演「島津からひも解く近代日本とエネルギー」  
原口泉 志學館大学人間関係学部教授 (鹿児島大学法文学部名誉教授)
- 1445-1645 シンポジウム「エネルギー環境教育の支援者から見た学校教育への期待」  
コーディネーター:高木 利恵子 氏(エネルギー広報企画舎)  
S1「鹿児島県を中心としたエネルギーを題材とした教育活動の紹介」  
山下信久(社会科を元気にする会)(指宿市教育委員会)  
「鹿児島県の再生可能エネルギーに関する取組について」  
久保純子(鹿児島県商工労働水産部エネルギー対策課)  
「薩摩川内市の次世代エネルギー・循環型社会推進の取組について」  
山元一将(薩摩川内市経済シティセールス部産業戦略課)
- 1800-2000 情報交換会(先着 50 名) 野のいぶき  
鹿児島県霧島市国分中央3-45-1 霧島市役所ビル 8F

令和5年8月8日(火) 会場:鹿児島県立霧島高等学校

〒899-6507 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 330-5

【口頭発表のプログラムの見方】

会場名, 発表分野, 座長の順で記載.

A- A 数字:最初の英字は会場, Aは午前, Pは午後を示し, 数字は午前・午後の通し番号.

発表者には○印を名前の前に記載. 連名の場合の所属は, 最初の同じ所属の名前の後に記載.

時間は, 発表時間 15 分, 質疑応答時間 5 分の計 20 分を 1 人当たりの時間として記載.

A 会場 授業実践① 【座長】藤本登(長崎大学)

A-A1 共通教育科目「生活の中の熱とエネルギー」での学生レポート記述内容から見た

1000- 学生の変容

1020 ○葛生 伸(福井大学)

A-A2 現在求められるエネルギー教育について

1020- -過去の2つの実践の反省から-

1040 ○櫛田敏宏(名城大学教職センター)

A-A3 エリア需給実績の見える化演習

1040- ○島崎洋一(山梨大学)

1100

A-A4 文系学生対象のリスクコミュニケーションを基盤としたエネルギー環境教育

1100- ○橘淳治(神戸学院大学)

1120

A-A5 「エネルギー資源工学」の授業改善

1120- -オンデマンドシステムを活用した授業スタイルの構築-

1140 ○八田章光(高知工科大学)

A-A6 2022年度エネルギー環境教育の実践 -関西ワークショップ-

1140- ○大磯眞一(原子力安全システム研究所:INSS), 西野加奈江, 中川幸二

1200

昼食(各種委員会)

A 会場 授業実践② 【座長】島崎洋一(山梨大学)

A-P1 つながりつづくエネルギー環境教育をめざして

1300- ○松原由佳(八尾市立曙川小学校), ○三浦愛稀(八尾市立曙川小学校)

1320

A-P2 持続可能な食生活を考える授業の実践

1320- ○平野江美(奈良教育大学附属小学校)

1340

A-P3 なぜ, どうしてで, ちよいエネルギー環境教育 —小学校5年理科—

1340- ○立花禎唯(高槻市立如是小学校)

1400

A-P4 放射線教育の導入時期を考える

1400- —「はじめましてほうしゃせん」を利用して—

1420 ○北倉祐治(東安居小学校), 大磯眞一(原子力安全システム研究所),  
西野加奈江

休憩

A 会場 授業実践③ 【座長】八田章光(高知工科大学)

A-P5 小学校家庭科におけるエネルギー環境教育

1430- —eカードを使用した授業実践—

1450 ○平岡信之(京都教育大学附属桃山小学校),  
藤原萌衣(京都教育大学家庭科教育領域専攻)

A-P6 脱炭素社会を目指す小学校社会科地域学習—地域における風力発電の選択と

1450- 合意形成—

1510 ○萩原浩司(皇學館大学), ○丸山拓弥(津市立南が丘小学校)

A-P7 家電製品の消費電力測定によるエネルギー教育のための授業開発

1510- ○菅原正則(宮城教育大学), 阿部彰人(宮城教育大学附属小学校),

1530 江刺美和(宮城教育大学附属中学校), 亀井文(宮城教育大学)

A-P8 電気エネルギーを中心としたエネルギー変換を実体験する技術科授業

1530- —中学校第2学年での実践—

1550 ○山代一成(益田市立東陽中学校), 栢野彰秀(島根大学教育学部)

休憩

A 会場 授業実践④ 【座長】小八重智史(宮崎大学)

A-P9 「地層」の授業から高レベル放射性廃棄物の地層処分を考える

1600- ○佐野綾香(加古川市立平岡中学校), 山本照久(加古川市立加古川中学校)

1620

A-P10 エネルギー自給率から日本のエネルギー安全保障を考える

1620- ○山本照久(加古川市立加古川中学校)

1640

A-P11 放射線教育の実践研究 -過去 10 年間の実践を踏まえて-

1640- ○秦浩之(三重中学校), 小西伴尚, 川田博基(三重高等学校), 平賀伸夫(青山  
1700 学院大学), 田邊博明(中部原子力懇談会三重支部), 岩崎直弘,  
南創(中部電力㈱), 杉崎隆, 櫻井佑樹, 中西達軌, 小西圭吾

A-P12 エネルギー・環境問題を主体的・対話的に考える

1700- ○八日市律子(京都市立大淀中学校)

1720

B 会場 その他, 教材・カリキュラム開発① 【座長】濱田栄作(琉球大学)

B-A1 GX 実現に向けた基本方針～今後 10 年を見据えたロードマップ～概説

1000- ○松永一郎(日本原子力学会シニアネットワーク連絡会:SNW)

1020

B-A2 電気自動車の普及に伴う課題に関する一考察

1020- ○富ヶ原健介(鹿児島県立霧島高等学校)

1040

B-A3 PPDAC サイクルの視点を取り入れた継続的な学びを促進させるための指導モデルに関する調査研究 -宮古島・石垣島での施設見学を事例として

1040- ○山岡武邦(滋賀大学), 清水洋一(琉球大学名誉教授), 安藤雅之(常葉大学)

1100

B-A4 性格テストからエネルギー環境教育へ

1100- ～情報活用能力の育成につなげるデジタルコンテンツの作成～

1120 ○山野元気(八尾市教育センター), ○松本貴博(八尾市立長池小学校)

- B-A5 『11%の暮らしってどう?』(デジタル教材)を家庭科で活用してみる  
1120- ○吉岡学(京都府長岡京市立長岡第四小学校),  
1140 ○瀬賀友加里(大阪府八尾市立高安西小学校)

- B-A6 電気・エネルギーをテーマとしたプログラミング教材の開発  
1140- ○小形好弘(電気事業連合会 広報部)  
1200

昼食(各種委員会)

B 会場 教材・カリキュラム開発② 【座長】山本照久(加古川市立加古川中学校)

- B-P1 ALPS 処理水問題の構図と中学校理科教材化の試み  
1300- ○萱野貴広(特定非営利活動法人静岡 STEAM 教育推進センター),  
1320 高島勇二(全国中学校理科教育支援センター),  
加藤太一(公財 日本科学技術振興財団)

- B-P2 放射線利用に関する場面解決型教材の作成とその実践  
1320- ○関遥香(宮城教育大学), 友常憲伸, 日向実優, 若松未結, 中山慎也  
1340

- B-P3 中学校理科授業における探究学習の提案  
1340- ○土屋善之(島田市立金谷中学校)  
1400

- B-P4 スマートハウス模型を用いた授業における学習指導過程  
1400- ○菅原正則(宮城教育大学), 武山侑加(宮城県立伊具高等学校)  
1420

休憩

B 会場 授業実践⑤ 【座長】藤本登(長崎大学)

- B-P5 「問い」を機軸に構成されたカリキュラム・マネジメント  
1430- する前に知り考える「科学技術科」の実践と展開  
1450 ○河野卓也(滋賀大学教育学部附属中学校)

- B-P6 中学校技術科においてシステム思考を活性化させる一人一台学習者用端末の活用  
1450-  
1510 ○小八重智史(宮崎大学), 藤本登(長崎大学)

B-P7 中学校第2学年理科「電流とその利用」における科学的根拠に基づくALPS処理水  
1510- 海洋放出の合意形成に向けた実践  
1530 ○田中誉也(磐田市立向陽中学校), 山岡武邦(滋賀大学)

B-P8 新しい放射線学習の提案  
1530- ○小鍛冶優(きいばす), 伊藤慧(永平寺中学校), 橋場隆(きいばす)  
1550

休憩

B 会場 授業実践⑥ 【座長】葛生 伸(福井大学)

B-P9 中学生・高校生を対象とした送電と交流の学習  
1600- ○川田博基(三重高等学校), 秦浩之(三重中学校), 平賀伸夫(青山学院大学)  
1620

B-P10 兵庫県立舞子高等学校環境防災科学校設定科目「自然環境と防災 I」における  
1620- エネルギー教育の実践  
1640 ○壺井宏泰(兵庫県立舞子高等学校)

B-P11 STEAM 教育アプローチに基づく放射線授業の設計と実践  
1640- ○萱野貴広(特定 NPO 静岡 STEAM 教育推進センター),  
1700 掛布智久(公益財団法人日本科学技術振興財団)

B-P12 体験を通して子供たちの視線を広げるために  
1700- ○藤本すみれ(鹿児島県立霧島高等学校 2 年生)  
1720

C 会場 普及啓発 【座長】栢野彰秀(島根大学教育学部)

C-A1 きいばす利用団体の体験内容について  
1000- ー美浜町エネルギー環境教育体験館を利用する団体が選択する体験プログラムの傾向ー  
1020 ○大野豊(きいばす), 今井めぐみ, 川崎宏和, 橋場隆

C-A2 エネルギー問題に対する学生の意見と背景についてー「学生とシニアの対話会」  
1020- からー  
1040 ○若杉和彦, 松永一郎(日本原子力学会シニアネットワーク:SNW)

- C-A3 つながりを作って広げていくエネルギー環境教育を目指して  
1040- 「第3回 教育実践者と専門家と連携に関するワークショップ」報告—  
1100 ○葛生 伸(福井大), 三木直輝(札幌市教育センター), 山本照久(加古川中),  
清水洋一(琉球大), 安藤雅之(常葉大)
- C-A4 中国地域におけるエネルギー環境教育の普及  
1100- ○田中春彦(中国地域エネルギー環境教育研究会), 沖原淳(中国地域エネルギ  
1120 ーフォーラム), 鴨木真理子, 宮下仁和
- C-A5 社会の問題を自分事化する教育活動の充実  
1120- 「小金井市立小・中学校のハチドリプロジェクト—  
1140 ○西尾崇(小金井市教育委員会)
- C-A6 次世代エネルギーパークを活用した地方型エネルギー環境教育展開の可能性  
1140- ○萩原豪(高崎商科大学)  
1200

昼食(各種委員会)

- C 会場 地層処分① 【座長】平賀伸夫(青山学院大学)
- C-P1 高レベル放射性廃棄物の地層処分事業に関する動向と次世代層への取組み  
1300- ○大津 恭子(原子力発電環境整備機構)  
1320
- C-P2 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育(17)  
1320- 「学年間を横断して中学校理科における高レベル放射性廃棄物を取り扱う授業  
1340 —  
○栢野彰秀(島根大学教育学部), 森健一郎(北海道教育大学釧路校),  
宮下健太(島根大学教育学部附属義務教育学校), 野崎朝之, 大山朋江,  
園山裕之(島根県教育センター), 高橋里美(八束学園)
- C-P3 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育(18)  
1340- 「島根原子力発電所と高レベル放射性廃棄物の地層処分を関連させた授業実践  
1400 報告—  
○野崎朝之(島根大学教育学部附属義務教育学校), 栢野彰秀(島根大学教育  
学部), 宮下健太(島根大学教育学部附属義務教育学校), 大山朋江,  
園山裕之(島根県教育センター), 高橋里美(八束学園)

- C-P4 中学校理科の2年生と3年生における「高レベル放射性廃棄物の地層処分」に関する授業実践  
1400-  
1420 ○森山正樹(札幌市立あやめ野中学校)

休憩

- C 会場 地層処分②・地域枠 【座長】萱野貴広(特定 NPO 静岡 STEAM 教育推進センター)  
C-P5 高等学校「総合的な探究の時間」を活用したエネルギー環境教育の実践  
1430-  
1450 ～「高校生の原子力に関する意識調査」と「クリアランス金属のリサイクル実践」～  
○浅井佑記範(福井南高等学校)

- C-P6 地層処分問題を問いつける授業実践の考察  
1450-  
1510 ○富ヶ原健介(鹿児島県立霧島高等学校)

- C-P7 高レベル放射性廃棄物の地層処分をテーマとしたタブレット学習教材の実践研究  
1510-  
1530 ○横田百香(琉球大学), 濱田栄作, 赤嶺優奈(那覇市立石嶺小学校),  
波照間生子(南風原町立南星中学校), 大矢恭久(静岡大学)

地域枠

- C-P8 地域社会と連携したエネルギー環境教育の実践  
1530-  
1550 ー地域産業や企業を生かした取組ー  
○古澤拓也(大分市立金池小学校)

休憩

- C 会場 地域枠 【座長】高木利恵子(エネルギー広報企画舎)  
C-P9 3件を予定しています。要旨は、当日会場で配布します。  
C-P10 壱岐龍慎(福岡市立高宮中学校)  
C-P11 岩元光博(鹿児島県瀬戸内町諸鈍小中学校)  
1600-  
1700 宮ヶ谷雄二(鹿児島大学教育学部附属中学校)

D 会場 展示ブース

- 1000- 原子力発電環境整備機構:仁平勝弘, 堀口晃, 北出万里子  
1600 日本原子力産業協会:中村真紀子

E 会場 模擬授業(ボードゲーム)

- 1100- 原子力発電環境整備機構:伊藤友宣, 小川彩, 実松由紀  
1210 鹿児島県立霧島高等学校:富ヶ原健介



令和5年8月10日(水) 施設見学会

以下のスケジュールは目安です。道路状況・天候等によってずれが生じますので、ご注意ください。

【Aコース】川内原子力発電所を中心とした鹿児島のエネルギーと歴史を探访するツアー

集合場所:JR 国分駅前 集合時刻:7時 55 分

案内人:江上博和(一般社団法人九州経済連合会九州エネルギー問題懇話会)

国分駅(800 発)⇒隼人東 IC⇒高速道路経由(休憩)⇒高江 IC⇒久見崎⇒

川内原子力発電所(見学・昼食:1000-1230)⇒れいめい風力発電所(見学:1300-1320)⇒

薩摩藩英国留学記念館(見学:1340-1400)⇒串木野IC⇒高速道路経由(休憩)⇒鹿児島北IC⇒

仙巖園(見学:1500-1600)⇒鹿児島中央駅(1620)⇒鹿児島空港(1730着)

川内原子力発電所の敷地内に入るために、事前に以下の情報を提供する必要があります。また、当日は、事前に連絡した氏名、生年月日、住所等が記載された以下に記載された身分証明書が必要です。忘れた場合は入場できませんのでご注意ください。参加者には別途連絡をいたします。

①年齢は見学会当日時点の年齢をご記載ください。

②身分確認証とは、指定の写真付き公的証明書等(原本)のことで、発電所入構時に警備員が確認いたします。以下のものがそれに該当します。

運転免許証 パスポート※1 写真付き住民基本台帳カード マイナンバーカード※2

その他記入例:運転経歴証明書、保険証、年金手帳、基礎年金番号通知書、住民票、在留カード等(確認書類名を具体的に記載)

③提出いただく名簿と、身分確認証の氏名・生年月日・住所等の記載に相違がある場合は、入構をお断りしておりますのでご留意いただきますようお願いいたします。

④お客さまの個人情報は、法令及び社内規定に基づく発電所の見学手続きのみに利用させていただきます。

※1 パスポートは、所持人記入欄に現住所を記載したものに限りです。(2020年2月4日以降に発給申請をしたものは、所持人記入欄が廃止され、所持人の住所確認ができないことから、身分確認証として取り扱うことはできません。)

※2 顔写真のないマイナンバー通知カードは、マイナンバーカードとして取り扱うことはできません。

九州電力株式会社 川内原子力発電所展示館

〒895-0132 薩摩川内市久見崎町字小平 1758-1 TEL:0996-27-3506 FAX:0996-27-3225

【Bコース】石油から地熱まで鹿児島のエネルギーの多様性と歴史を探访するツアー

集合場所:JR 国分駅前 集合時刻:7時 55 分

案内人:古澤拓也(大分市立金池小学校)

国分駅(800 発)⇒隼人東 IC⇒高速道路経由⇒始良 IC⇒仙巖園(1020 発)⇒

鹿児島七ツ島ソーラー科学館(1110 発)⇒喜入石油備蓄基地(見学・昼食:1300 発)⇒喜入駅⇒

九州電力山川発電所・展示館・塩田(見学:1350-1530)⇒谷山 IC⇒高速道路経由⇒鹿児島 IC⇒鹿

児島中央駅(1635)⇒鹿児島空港(1740)

【利用バス会社】新鹿児島観光バス(株) Tel.0995-64-2385 FAX.0995-64-2386